

木童 東京支店 (平成 28 年 11 月より移転)

東京都新宿区西新宿 7-7-26 ワコーし新宿第一ビル 408
TEL: 03-5937-5069 FAX: 03-5937-5079
E-mail: tokyo@kodoh.co.jp

木童 神戸本社

兵庫県神戸市北区大沢町 437
TEL: 078-954-0072 FAX: 078-954-0257
E-mail: muku@kodoh.co.jp

★東京支店移転1周年・リニューアル

12年間使っていたオペラシティビルから、現在の東京支店に引っ越してきて約1年が経ちました。国産の木材で作ったショールームの印象が強かった為、色々な方に「前とは全然違うの?」「無垢の床に乗って足触りを体験できないの?」または、「以前みたいに床を貼って欲しいなあ」との質問や要望を頂いていましたが…1周年を機にプチリニューアル! 打ち合わせスペースの床に1番人気の相生杉を貼りました。

傷みの激しかったサンプル棚の扉は新しく源平パネルで制作し、木童の和色を塗装。深みのある濃い色が空間をぐっと引き締めてくれています。実は裏側には別の色が塗ってあり、和色全8色の色見本も兼ねています。サンプルをなかなかお出しできないので、こちらでぜひ色を確かめてください。
棚の上には阿波指物師・富永啓司氏の昇竜障子を目隠し代わりに配置し、こちらも写真ではお伝えしきれない魅力を発揮してくれています。
狭いスペースながらも木童“らしさ”を盛り込んだショールームになりました。木の魅力を発信していく基地として、たくさんのお客様にご来社、ご利用いただければ幸いです。※不在のこともありますので来社の際は事前にご連絡をお願いします。



★在来工法+壁断熱パネルという選択肢

住宅性能のUPが言われながらも住宅にかかるコストは年々厳しくなる昨今、木童として、壁断熱パネルの提案という新しい試みを行っています。この壁断熱パネルとは、外壁面材に断熱材をプラスした壁パネル、これを建物の外側からはめ込むことで、大囲いから断熱材施工までが一気に終わるという優れもの。もちろん窓等の開口部分も打ち合わせ通りに作成するので、パネル施工の翌日にはサッシが取り付け可能というから驚きです。
木童では、このパネルと在来工法を組み合わせることで、質の高い木構造でありながら、雨仕舞までの大幅な工期短縮を提案し続け、実例も数十棟にまで増えてきました。パネル化のメリットとして工期短縮のコストダウンに加えて、優れた断熱性能があります。工場で計算された寸法にカットされた断熱材は、現場で加工するよりも隙間なくきっちりと充填でき、結果として高気密・高断熱の壁として仕上がります。それにより結露防止や暖房効率のUPなどの2次的メリットも発生し、家も長持ち、家計にも優しいお家の完成! というわけです。



<現在進行形の新築物件/宝塚K邸でもパネル工法を採用しています>



★家づくり現場レポート① H-house/岐阜県 設計: 高橋圭吾建築設計事務所

岐阜県南東部の閑静な住宅地に計画されたH-houseは、遠方ながらも木童として土地探しからご協力させて頂いた物件です。基本計画から何度となくプランを練り直し、11月ようやく上棟となりました。構造材は宮崎県産のオビ赤杉、しかし今回は住まい手さんの強い要望により、柱材はすべて桧材、さらにはLDKには大きな桧の大黒柱も! いつもは杉の香りに包まれる現場も今回は桧の香りが主役となりました。建て方当日は柱立てから始め、1階2階と順調に進み、お昼過ぎには無事に棟が上がりました。おかげで上棟式も日の高いうちに余裕をもって執り行うことができ、まずは一安心。内部の仕様や、その後の工事の様子は、また完成レポートとしてご報告させていただきますので楽しみに。



★家づくり現場レポート② K邸/兵庫県明石市 設計・施工: 住友不動産

住宅密集地では、火災の延焼を防ぐために、建築基準法において延焼のおそれのある部分に燃えない/燃えにくい材を使うという決まりがあります。今回ご相談を受けた住宅のガレージ部分もいわゆる延焼ラインにかかっており、準不燃相当の材料が必要だということでした。こちらに木童が納品した材は、「薬剤注入処理材」ではなく、「準不燃認定の取れる塗料を塗装した板材」です。稀な例にはなりますが、塗料品での対応でもOKな場合があるのです。(※詳しくは営業スタッフまで!)
薬剤注入処理材と違って塗料品の良いところは、薬剤が内側から染み出てくる白化現象が起きないこと。そして価格が抑えられることが挙げられます。不燃/準不燃材というと価格が高くて、見積をしてもなかなか採用に至らないことが多いのですが、こういった塗料を活用することで木を使ってもらえる場面が増えるのは嬉しいことです。



★家づくり現場レポート③ S邸/埼玉県新座市 設計: アーキネットデザイン

S邸はお医者さんの自邸で隣りは医院になっています。一足先に完成した、木をたくさん使ってもらった自邸の方を紹介したいと思います。構造材は宮崎のオビ赤杉を使用。広いリビングの床は館くるみ150巾で、合わせて框も館くるみを使用しています。和室に続く1F廊下には、南波から松を。和室は木童桧の無地上小で上品に。お風呂の天井は北前ヒバでポイントに。階段はからパネルの段板を使用、プレカットして入れさせていただきました。現在進行中の医院も建て替えをして木童の材を使って頂く予定です。これからどのような表情になるのか楽しみです。



KODOH NEWS

- 12/29 (金) ~ H30 年 1/4 (木) まで年末年始のお休みをいただきます。
※神戸本社・東京支店ともにこの期間の住宅相談は承っておりません。※また納品につきましても年末年始は運送が制限されますので、1/中くらいまでの予定については早めにご連絡をいただきますようお願いいたします。
- 12/16 (土) 東京支店で無料住宅相談会を行います。※予約制となりますのでメールかFAXにてお申込み下さい。
※木童通信をHPよりダウンロード出来ます。バックナンバーをご希望の方はこちらをご利用下さい。